

## 事業計画について

2019（平成31）年3月8日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

# I 平成30事業年度事業計画の実施状況

# 平成30事業年度事業計画の主な実施状況

## システムの安定運用とサービス向上

- ・ NACCS及び貿易管理サブシステムにおいて、システム稼働率100%を維持しました。
- ・ 2021年10月の中年度更改に向け、WG及びサブWGを立ち上げ検討を開始しました。
- ・ 春季及び秋季にNACCS地区協議会を開催しました。

<参考:計画概要>

- ・ システムの安定運用に努め、システム稼働率100%を目指す。
- ・ 中年度更改に向け、検討体制を構築し、検討を開始します。 等

## 総合物流情報プラットフォームの構築

- ・ 2019年度プログラム変更要望230件について、関係業界等へのヒアリングを実施しました。
- ・ プログラム変更要望内容を精査し、14案件を選定しました。(うち1案件は2018年継続案件)

<参考:計画概要>

- ・ 効率的な業務運営とともにシステムの機能向上、お客様ニーズへの的確かつ柔軟な対応に取り組みます。 等

## 次期(第7次)NACCSの開発

- ・ 第7次NACCSの基本コンセプトの検討を進めるため、2018年10～11月にかけて、利用者ニーズの把握を目的とする利用者ヒアリングを計55社に対して実施しました。

<参考:計画概要>

- ・ 最新技術の動向を踏まえつつ、港湾・空港における利便性・信頼性・経済性の高い効率的な「総合物流情報プラットフォーム」の構築を目指し、関係機関及びお客様と意見交換を行いながら 次期(第7次)NACCSに向けた基本コンセプトの検討を開始します。

## 新技術の調査と実用化に向けた検討

- ・ セミナー等へ参加し情報収集を行うとともに、ベンダー企業等との意見交換を通じて、AI・IoT等の先端技術についての調査を実施しました。

<参考:計画概要>

- ・ AI・IoT等の先端技術を活用するための調査及び実用化に向けた検討を行います。 等

# 平成30事業年度事業計画の主な実施状況

## 新規事業

- ・ 目的達成業務「貿易関連書類電子保管業務」に係るシステム開発を開始しました。
- ・ 「ASEANシングル・ウィンドウ調査」に係る案件にサポート役として参加し、調査を開始しました。

<参考:計画概要>

- ・ 「貿易関連書類電子保管業務」の詳細を検討し、実施します。
- ・ NACCS型貿易関連システムの展開の可能性についても検討します。
- ・ 海外システムとの連携等について検討します。 等

## 企業の社会的責任(CSR)

- ・ 各事務所周辺の清掃活動を実施しました。(計2回)
- ・ 会議システムを利用したペーパーレス化を実施しました。

<参考:計画概要>

- ・ NACCSによる電子化等を通じたペーパーレス化を推進することによるCO<sub>2</sub>の削減を目指します。
- ・ ボランティア活動などを通じ、社会に貢献するよう努めます。 等

## 経営基盤の強化

- ・ 業務継続計画について見直しを実施しました。
- ・ 当社を取り巻くリスクについて見直しを行い、リスク管理の徹底に努めました。
- ・ 契約事務の見直しを実施しました。

<参考:計画概要>

- ・ コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、経営の効率化の推進及び人材の育成に努めます。
- ・ リスク管理、情報セキュリティ及び業務継続体制を強化、経営基盤の強化を図ります。 等

## 株主還元

- ・ 期末配当を実施しました。
- ・ 役員による株主訪問を実施しました。

<参考:計画概要>

- ・ 株主との建設的な対話を通じてNACCSの安定運用とサービスの向上に努めます。
- ・ 配当を含めた株主の負託にも応えられる企業を目指し、持続的な成長を実現し中長期的な企業価値を高めるように努めます。

## 平成30事業年度決算見込

(単位:百万円)

項目	決算見込
売上高	8,193
(内、民間収入)	3,061
売上原価	6,746
売上総利益	1,447
販売費及び一般管理費	565
営業利益	883
営業外収益	6
営業外費用	167
経常利益	721
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期利益	721
法人税等	252
当期純利益	469

## Ⅱ 平成31事業年度事業計画(案)の概要について

# 平成31事業年度事業計画(案)の概要

## 主な取組み事項

### システムの安定運用 サービス向上

24時間365日安定運用

中年度更改の準備  
※2021年10月更改予定

NACCS掲示板機能改善  
各種セミナーの拡充

NACCSへの加入促進  
既存業務の利用拡大

### 次期(第7次)NACCS の開発等

基本仕様の検討

貿易管理サブシステム  
の統合に向けた開発

新技術の調査と実用化  
に向けた検討

### 新規事業

業務状況等分析業務  
の展開

貿易関連書類電子保  
管業務の開始

諸外国へのNACCS型貿  
易関連システムの展開

### 株主還元

株主との建設的な対話

企業価値の向上

## 経営基盤の強化

- ◆ ガバナンスの強化
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ 人材の育成
- ◆ システムセキュリティ対策
- ◆ 業務継続体制の強化

# 平成31事業年度事業計画(案)の主な取り組み

## システムの安定運用とサービス向上

- ・ 24時間365日システムの安定運用に努め、システム稼働率100%を目指す。
- ・ 2021年10月のNACCS機器の中年度更改に向けて、移行・接続試験等の検討を行う。
- ・ NACCS掲示板の機能改善及び各種セミナーの拡充を図る。
- ・ システム機能改善及び既存業務の利用拡大に取組み、NACCSの完全普及を目指す。

## 総合物流情報プラットフォームの構築

- ・ 効率的な業務運営とともにシステムの機能向上、お客様ニーズへの的確かつ柔軟な対応に取り組む。
- ・ 2020年6月の貿易管理サブシステムのNACCSへの完全統合に向け、開発を進める。

## 次期(第7次)NACCSの開発

- ・ 関係機関、お客様及び国際物流に関連する各種団体と意見交換を実施する。
- ・ 次期(第7次)NACCSの基本仕様を検討する。

## 新技術の調査と実用化に向けた検討

- ・ システムの安定運用やお客様サービスの向上、第7次NACCSの開発等に資する取組みとして、AI・IoT等の先端技術を活用するための調査及び実用化に向けた検討を実施する。

# 平成31事業年度事業計画(案)の主な取り組み

## 新規事業

- ・ 「貿易関連書類電子保管業務」のサービスを開始する。
- ・ お客様の利便性向上につながる施策について、その実現可能性について検討を行う。
- ・ ASEANシングル・ウィンドウに関する調査業務に参加する。
- ・ 海外システムとの連携等を図る。

## 企業の社会的責任(CSR)

- ・ CO<sub>2</sub>削減や、指定公共機関として国等との綿密な連携を図る。
- ・ ボランティア活動等を通じて社会に貢献するよう努める。

## 経営基盤の強化

- ・ 予算執行を適切に管理すること等により、経費削減及び業務処理の最適化に努める。
- ・ 人材交流をはじめ、人材育成のための研修の充実を図る。
- ・ 業務継続体制を強化するため、業務継続計画書の見直しを行うとともに、業務執行体制の見直しを含めた体制強化に努める。

## 株主還元

- ・ 株主との建設的な対話を通じてシステムの安定運用とサービスの向上に努めるなど、株主を含むお客様の信頼と期待に応える。
- ・ 持続的な成長を実現し、中長期的な企業価値を高めるように努める。

## 平成31事業年度収支計画(案)

(単位:百万円)

項目	平成31事業年度計画
売上高	8,754
(内、民間収入)	3,050
売上原価	7,484
売上総利益	1,269
販売費及び一般管理費	596
営業利益	673
営業外収益	4
営業外費用	126
経常利益	551
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期利益	551
法人税等	198
当期純利益	352